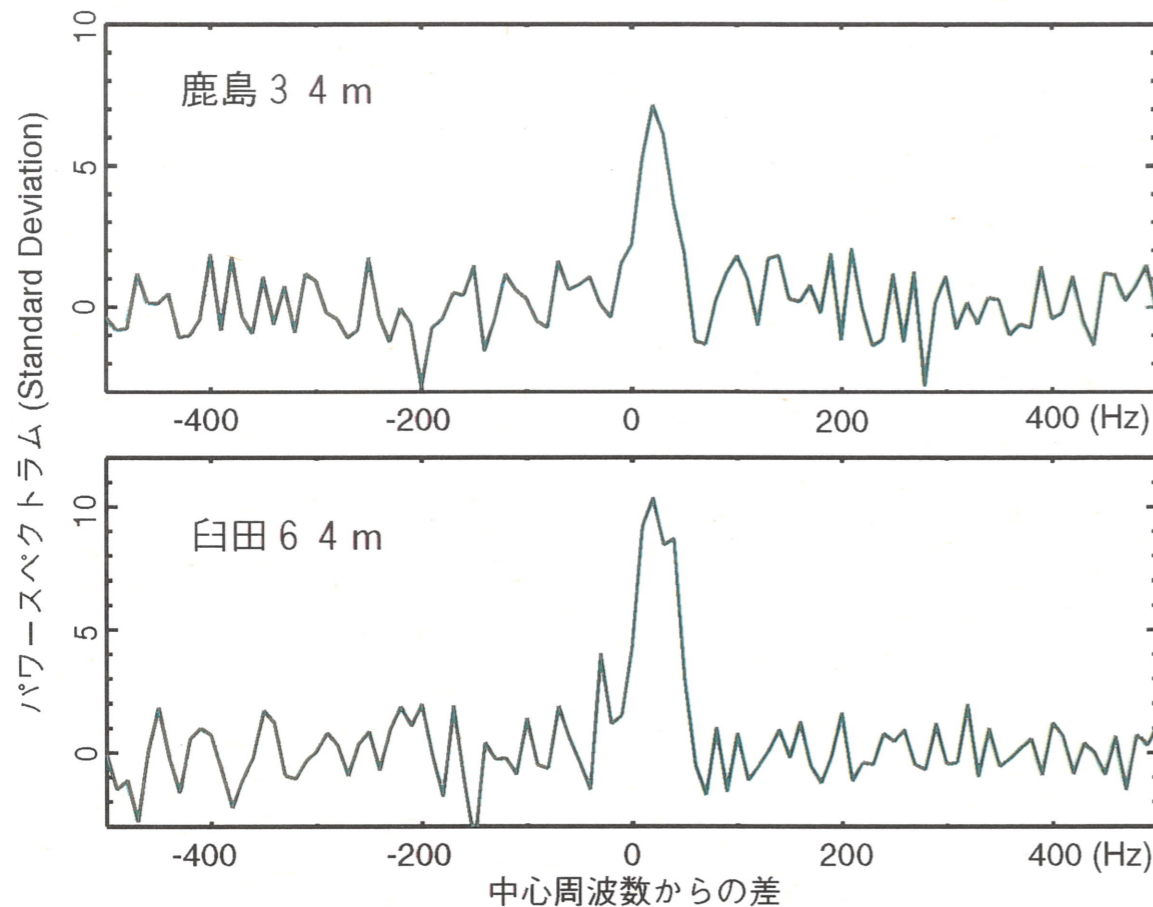


小惑星4197(1982TA)のレーダー観測に成功

鹿島宇宙通信センターと宇宙科学研究所臼田宇宙空間観測所で同時観測



小惑星 4197 (1982TA) のレーダーエコーのパワースペクトラム
(積分時間 75 分、周波数分解能 10 Hz)

地球に接近する軌道をもつ小惑星 4197 (発見時につけられる仮符号は 1982TA) が、1996 年 10 月 26 日に地心距離 0.085 AU (約 1 千 2 百万 km) にまで接近しました。この距離は、地球から月までの距離の約 3.3 倍に相当します。鹿島宇宙通信センターの 34 m アンテナと、宇宙科学研究所臼田宇宙空間観測所の 64 m アンテナでは、この小惑星のレーダー観測を同時に行い、ジェット推進研究所のゴールドストーン局にある 70 m アンテナから送信された信号のレーダーエコーを検出することに成功しました。日本では、昨年行われた小惑星 6489 ゴレブカの観測に続いて、2 度目の観測成功となります。今後、それぞれで観測された信号の相互相関から、世界で初めての小惑星のレーダー干渉計観測の基礎データを得ることを目指してデータ解析を行う予定です (Y. K. 記)。

※謝辞 この観測では、宇宙開発事業団や国立天文台と共同で行っている RISE 計画で導入された観測機器を使用しました。関係者の方々に感謝いたします。